



安全・安心な美味しい水を
新施設完成

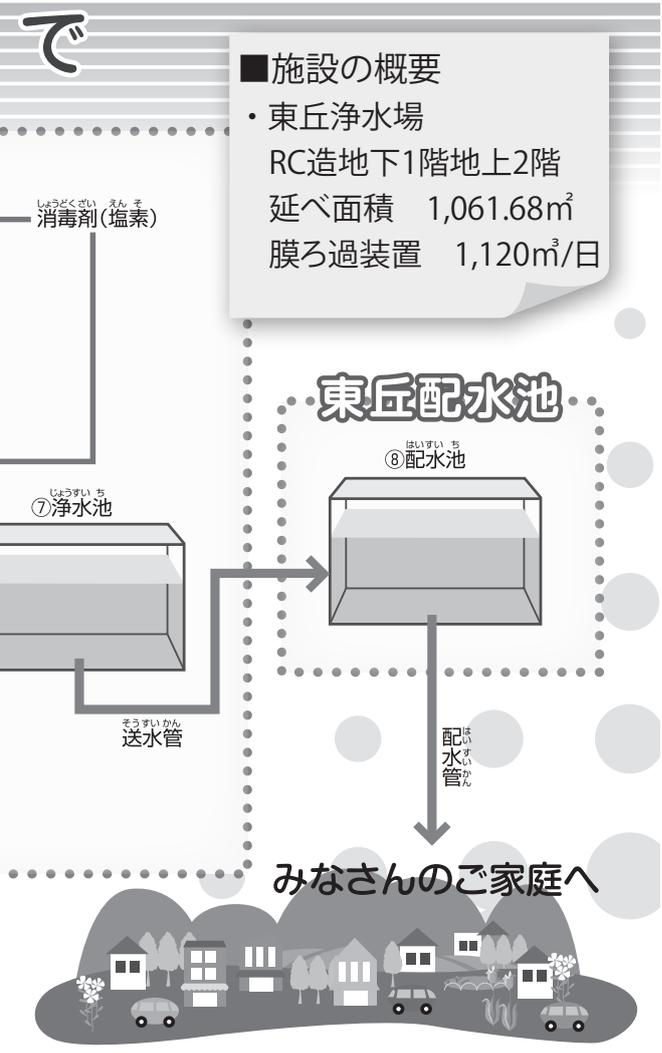
東丘浄水場が給水開始

6月26日(火)、新しくなった東丘浄水場で通水式が行われ、市街地を中心に水道水が供給されました。通水式には、町関係者、工事業者の他、和寒小学校4年生ら約60人が出席し、奥山町長、佐久間名寄保健所長、塚崎町議会議長、池澤自治会連合会長、小学生の山内みのりさんの5人がテープカットを行いました。

奥山町長からは「町内の水道水が、これまで以上に美味しいと言われることに期待します。」とあいさつし、出席者全員が浄水場の水で乾杯、施設の稼働開始を祝いました。



■施設の概要
・東丘浄水場
RC造地下1階地上2階
延べ面積 1,061.68㎡
膜ろ過装置 1,120㎡/日



総事業費17億6千万円

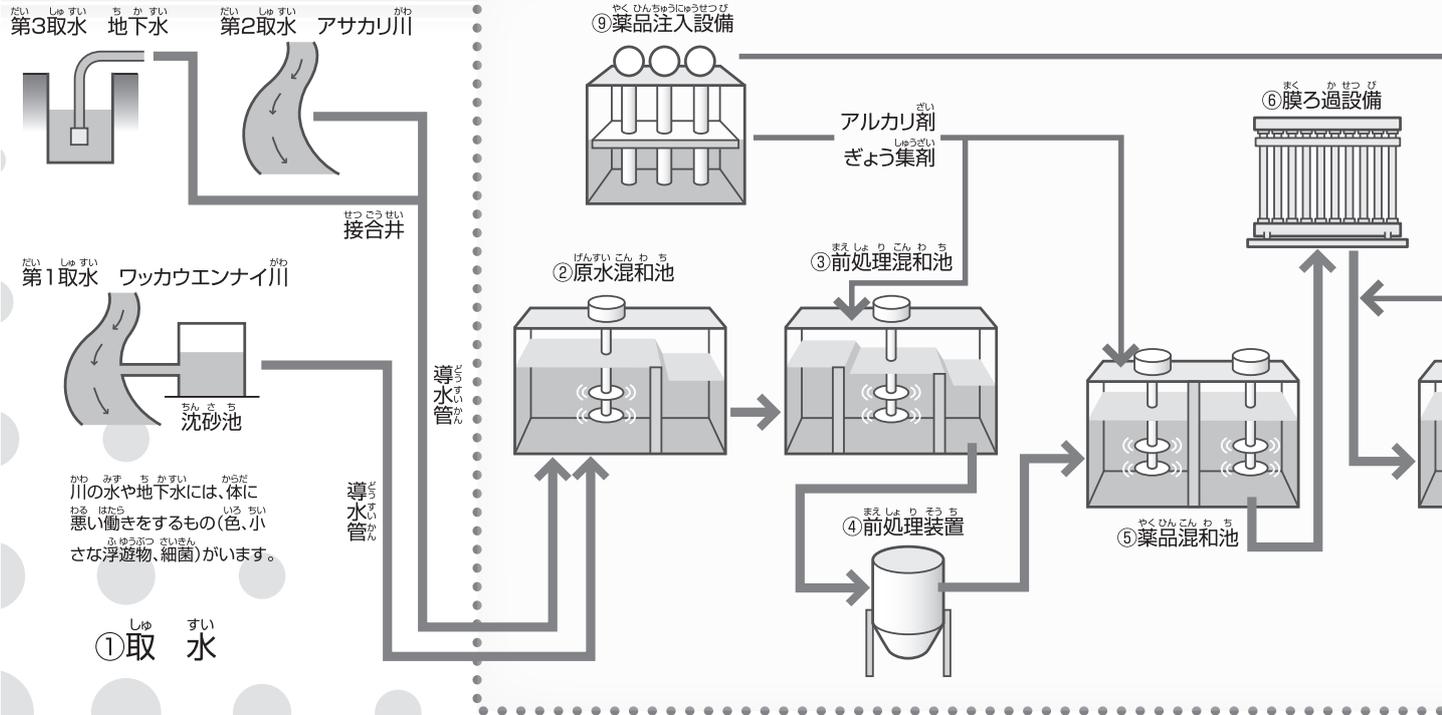
東丘浄水場旧施設は、昭和38年に供用開始し、55年間使用してきました。施設の老朽化から、平成27年から施設の建設設計に着手し、平成30年3月に施設が完成しました。

水質確保対策で「膜ろ過方式」を採用

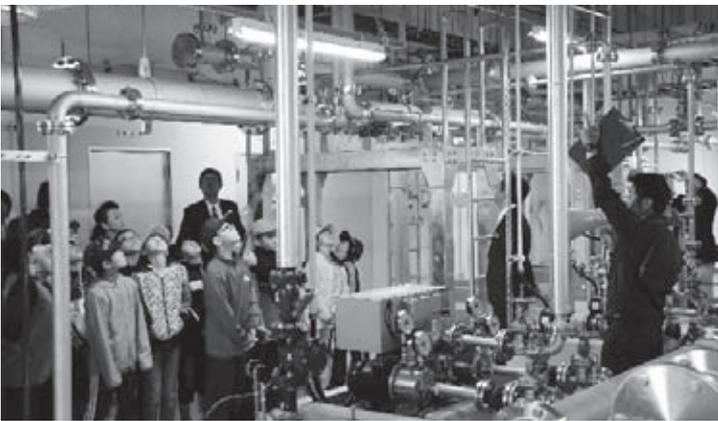
これまでの浄水方法は、取水した原水を、ろ過池の砂の

浄水場のしくみ 水ができるまで

東丘浄水場



※ 6月21日から新浄水場でろ過された水道水はご家庭に給水されています



通水式終了後は施設内を見学



美味しい水で乾杯！

層に浸透させて水中の不純物を取り除く「緩速ろ過方式」を採用していましたが、新しい浄水場では0.1ミクロンの多孔質セラミック膜の中に水を通して、小さな浮遊物や細菌を取り除く「膜ろ過方式」となっています。

従来の「緩速ろ過方式」よりも高精度に浮遊物や細菌を除去することができるため、安全・安心な水を、町民皆さんに供給することができます。